

「尾瀬かたしなゼロカーボンパーク」
6つのチャレンジ！アクションプランと重点実施事項

「尾瀬かたしなゼロカーボンパーク」6つのチャレンジ！アクションプラン

環境/エネルギー	1. 「自然保護運動の原点/尾瀬」から発信する地球環境問題解決への挑戦
村づくり/暮らし	2. 人にやさしく、未来をつなぐ、賑わいのある地域づくりへの挑戦
交通システム	3. 移動の障壁を取り払う環境配慮型二次交通システム構築への挑戦
観光/トレイル	4. 四季を通じて楽しむ、人が絶えない自然環境を活かしたアクティビティへの挑戦
教育/コミュニケーション	5. 片品の暮らし、環境、観光について、村民自らが考え学ぶことのできる教育実践活動への挑戦
広報/プロモーション	6. 世界に誇れる「本州最大の高層湿原/尾瀬」を最大限に表現するプロモーションへの挑戦

◆目標と背景

6つのチャレンジ！アクションプランにより実現すべき重点実施事項の目標とその背景を示しています。

アクションプラン1

「自然保護運動の原点 尾瀬」から発信する地球環境問題解決への挑戦

◆目標と背景

- 2020年10月26日、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにし、脱炭素社会の実現をめざすことを宣言しました。
- これを受け、片品村は2022年2月22日に自然豊かな環境を将来に引き継ぎ、持続可能な社会を実現するための指針「片品村5つのゼロ宣言2050」を表明しました。2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざします。
- さらに、片品村に位置する尾瀬／かたしなエリア（尾瀬国立公園内）は、2022年4月21日、環境省より全国で7番目となる「ゼロカーボンパーク」に登録されました。村としては全国第1号です。この登録により、尾瀬国立公園内の周辺施設、村全体の脱炭素化を推進しています。
- 具体的には、尾瀬国立公園と片品村における再生可能エネルギーの活用、電力の地産地消、電気自動車やEVバス活用による交通システムの脱炭素化を進めます。

アクションプラン2

人にやさしく、未来をつなぐ、賑わいのある地域づくりへの挑戦

◆目標と背景

- 片品村では、第四次総合計画（第2期むら・ひと・しごと創生総合戦略）において、「小さくても輝く尾瀬の郷・かたしなの実現へ ～世界を視野に～」を掲げ、3つの戦略「豊かな自然と観光、農業を育み、安心して働けるむら」「つながりを大切にしつつ、新しいひとの流れがあるむら」「結婚・出産・子育てにやさしく、安心して暮らすことができるむら」を宣言しています。
- 尾瀬を中心とした豊かな自然環境、ごみ持ち帰り運動発祥の地・尾瀬ならではのゴミ削減と資源循環の取り組みを通じて、尾瀬を訪れる人々、尾瀬で働く人々とのつながりがより深まるよう努めていきます。
- 合わせて、子どもから大人まで、村民が自分の暮らしや身近な環境を見つめ直し、主体的に地域づくりに参画できる、賑わいのある村をめざします。

アクションプラン3

移動の障壁を取り払う環境配慮型二次交通システムの挑戦

◆目標と背景

- 群馬県北毛エリアに位置する片品村は現状の移動手段が限定的なため、尾瀬を利用する人々や村民の多くがマイカーによる移動を強いられています。
- 一方で、村内の小中学生のスクールバスによる移動、高校生等の公共バスによる移動など、その利用形態は様々です。運輸部門の脱炭素化と二次交通システムへの環境配慮が、喫緊の課題になっています。
- 今後は、車を持たない若者や高齢者など、村民の移動手段への配慮にその対象を広げていきます。同時に、インバウンド利用など観光や長期滞在のために、一過性の往来ではない、尾瀬周辺と村内全体の周遊移動にも可能性を広げ検討していきます。
- さらに、サステナブルツーリズムなどアクティビティとしての移動の楽しみ方や、村民の心と体の健康増進のしくみへの組み入れなど、健康長寿やウェルビーイングの発想を積極的に導入し、片品村の新たな移動と環境配慮型二次交通システムの取り組みの実現をめざします。

アクションプラン4

四季を通じて楽しめる、人が絶えない自然環境を活かしたアクティビティへの挑戦

◆目標と背景

- ▶ 尾瀬国立公園とその周辺エリア、片品村は豊かな自然環境に恵まれており、訪れる人々を魅了しています。しかし、その利用はごく一部に限られており、長期滞在やシーズン毎に来訪されるまでにはいたっていないという現状があります。
- ▶ 尾瀬国立公園のグリーンシーズンを楽しむためのフィールド整備を行うとともに、アヤマ平を中心としたウィンターシーズンにも訪れていただける新たなアクティビティの充実を図っていきます。
- ▶ 具体的には、尾瀬を訪れる人々が尾瀬国立公園を安全かつ快適に楽しんでいただけるよう、自然保護を重視した工法で登山道を整備していきます。また、村民が慣れ親しんだスキー文化を継承することを目的とした施策をはじめ、四季を通じて自然を満喫できる村民の遊び場（アクティビティ等）や、マウンテンバイク・トレイルランニング等が楽しめる林道整備を行います。

アクションプラン5

片品の暮らし、環境、観光について、村民自らが考え学ぶこと のできる教育実践活動への挑戦

◆目標と背景

- ▶ 当実行委員会は、尾瀬国立公園と片品村の脱炭素化に村民が主体的に参加することをめざします。そこで、村民、とりわけ次世代を担う片品中学校、尾瀬高校の生徒を対象に、アンケート調査を実施しました。
- ▶ その結果、特に中学生や高校生は、大人よりも尾瀬を訪れ尾瀬に愛着を感じていることがわかりました。中でも「片品村に暮らす私たちにとって、アヤマ平は大切な場所である」という実体験に基づく意見が、数多く寄せられました。
- ▶ これを受け、当実行委員会では、村民が身近な暮らしや環境、観光について、先人の知恵や先行して実践している地域の方々との交流活動を通じて互いに学び合い、見識を深めることができる場を創出していきます。

アクションプラン6

世界に誇れる「本州最大の高層湿原／尾瀬」を最大限に表現する プロモーションへの挑戦

◆目標と背景

- 尾瀬国立公園の「新・尾瀬ビジョン」がめざす姿は、「みんなに愛され続ける尾瀬」です。その行動理念は「みんなの尾瀬を、みんなで守り、みんなで楽しむ」です。そして、「新・尾瀬ビジョン」で考える尾瀬の在り方は、尾瀬国立公園＋周辺地域であることを示しています。
- いま、尾瀬に関わる人々、尾瀬に生きる多様な動植物、すべてが相互に関わり合いながら、これまで以上の関係性を再構築することが求められています。
- 「自然保護運動の原点」という歴史、そこに暮らし育んできた伝統や文化、「本州最大の高層湿原」という生物多様性の宝庫を、次世代に引き継いでいかなければいけません。尾瀬を訪れるすべての人々にその素晴らしさを伝えるために、最大限の広報プロモーションを実施していきます。